

第9回厚別区防犯ネットワーク会議

■日 時 平成27年12月15日(火) 15時00分~16時30分

■場 所 厚別区役所2階 会議室C

次第

1 開会

2 代表挨拶

厚別区防犯ネットワーク代表 白川 典洋

3 厚別区の犯罪発生状況について

厚別警察署生活安全課生活安全係長 原田 剛

4 議事・報告

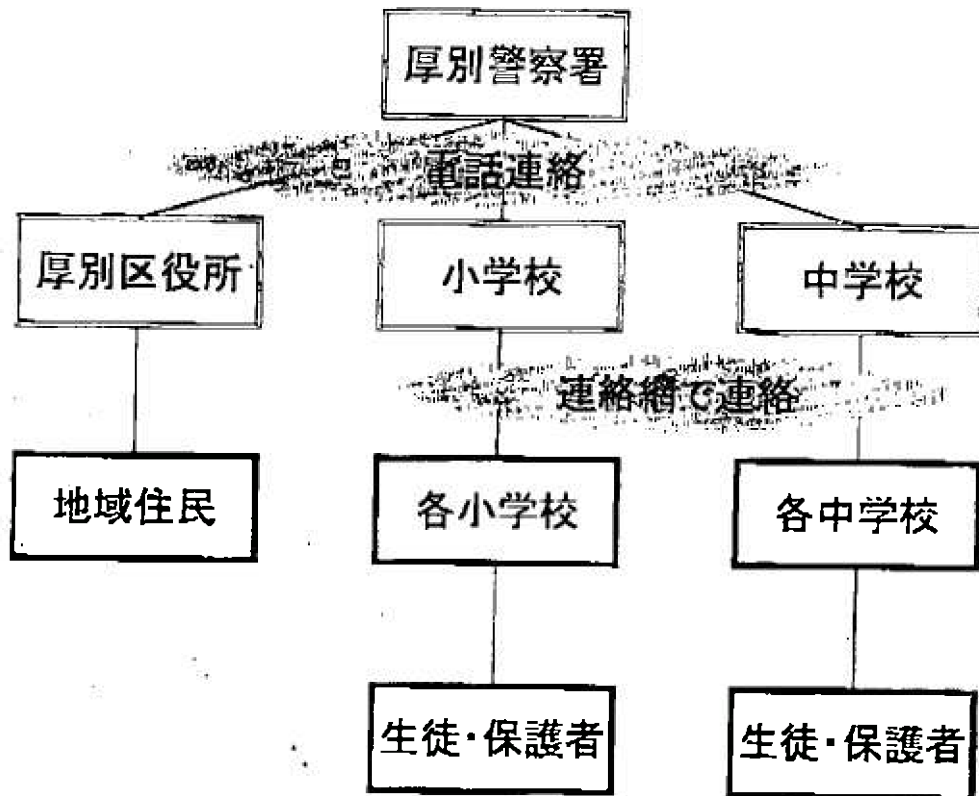
- (1) 重大事案発生時における土日等の緊急連絡体制について
- (2) 各構成団体からの報告と意見交換
- (3) 平成27年度厚別区防犯講演会の開催結果について
- (4) 来年度の事業計画について

5 閉会

《配布資料》

- ・資料1 重大事案発生時における土日等の緊急連絡体制について
- ・資料2 大谷地わらび階段への防犯カメラの設置について
- ・資料3 平成27年度厚別区防犯講演会結果概要
- ・資料4 平成27~28年度厚別区防犯ネットワーク事業計画

重大事案発生時における土日等の緊急連絡体制について(案)



北海道コカ・コーラボトリング株式会社様のご協力により 大谷地団地町内会が大谷地わらび階段に防犯カメラを設置

大谷地わらび階段では、女性を狙った性犯罪が多発していたことから、昨年度、当階段がある厚別区の大谷地団地町内会、また、階段の利用者が多い清田区の北野団地自治会及び東北野町内会、厚別警察署、厚別区役所等が合同で防犯会議を行い、町内会では合同パトロール活動の強化、厚別区では防犯用ミラーの設置等の対策を実施してきた。

しかし、その後も事件が発生していたことから、平成 27 年 6 月 22 日に厚別南町内会連合会と大谷地団地町内会の連名で「防犯カメラ設置に関する要望書」が厚別区長あてに提出され、大谷地団地町内会が防犯カメラを設置することを認めるよう要望を受けた。

その後、道路上への防犯カメラの設置に関する占用許可等について厚別区土木部等と調整した結果、大谷地わらび階段の屋根等がついた形状や犯罪が多発している状況を考慮し、今回特別に道路の占用が許可されることとなった。

また、防犯カメラについては、北海道コカ・コーラボトリング株式会社から大谷地団地町内会が寄贈を受けることとなり、今回、大谷地団地町内会が防犯カメラを設置することとなった。

記

1 設置場所

札幌市厚別区大谷地西 3 丁目 大谷地わらび階段内（歩行者専用道路）

2 設置日

平成 27 年 8 月 19 日（水）

【大谷地わらび階段に設置された防犯カメラ】



3 北海道コカ・コーラボトリング㈱からの防犯カメラの寄贈

今回の取組は、厚別区とまちづくりパートナー協定を締結している北海道コカ・コーラボトリング㈱様から、協定に定めた連携事項のひとつである「安心安全なまちづくり」の趣旨を踏まえて、防犯カメラを町内会へ寄贈していただいている。

この寄贈にあたっては、大谷地団地町内会が北海道コカ・コーラボトリング㈱と防犯カメラと自動販売機の設置に関する協定を締結し、大谷地団地町内会館（厚別区大谷地西3丁目 15-1）に隣接する北星学園大学の敷地（無償で借用）に自動販売機を設置することにより、防犯カメラの設置に係る費用（電気工事に係る費用は除く）は北海道コカ・コーラボトリング㈱が負担し、維持・管理等の費用は大谷地団地町内会が自動販売機の飲料の売り上げから一定割合で積立する基金の中から負担することとなっている。

【設置された自動販売機の様子】



平成27年度厚別区防犯講演会 開催結果概要

【日時】

平成27年10月28日(水) 14時00分～16時00分

【場所】

ホテルエミシア札幌 2階 パステル

【講師】

うさぎママのパトロール教室 主宰 武田 信彦 様

【アンケート結果】

別添のとおり

【講演概要】

1 講演

○ 20年程前の地域防犯の状況

- 大学2年のときに防犯ボランティアのNPOに所属し、渋谷を中心に活動。
- 防犯ボランティアという言葉はない時代。防犯は行政の仕事であり、市民がやるものではないというのが一般的な認識だった。
- 渋谷には、チーマー(チームの構成員)がいて、ポケベルで連絡を取り合っていた。また、薬物の取引も常時行われているような状況だったが、非武装・非暴力で声掛け等のコミュニケーション中心の防犯活動をしていた。

○ 子どもの防犯力

- 子どもの防犯力には、挨拶などのコミュニケーション能力と、不審者(知らない人)には気を付けるという防犯力の両方があるが、重要なのはコミュニケーション能力。
- 子どもを対象にした防犯教室で鬼ごっこをしようとしたら、いきなりカンチョーされたり、最初に靴ひもほどかれたりすることがある。こういう悪知恵が働く(コミュニケーション能力の高い)子どもの防犯力は高い。

○ 子どもを守る3つの力

- 子どもの安全を守るためには、「子どもの力」「地域の力」「大人(保護者)の力」の3つが重要。ちなみに、日本は安全度が高いので「地域の力」という考え方があるが、世界では子どもは親が守るとするのが一般的。
- 世界の主要50都市の中で、安全な都市の順位は、第3位が大阪、第2位がシンガポール、第1位が東京。悲しい事件は起きているが、世界的に見ると日本は安全。
- 「地域の力」を更に強めるためには、守られる子どもと守る大人のつながりを強化することが大事。防犯活動をしている人が子ども達から感謝のメッセージをもらう機会等をつくることにより、より活動が活発になる。

○ 防犯パトロールを継続する4つのコツ

- 1つは、無理をしないこと。「ひとりあたり週3回以上活動しない。」といった逆ルールをつくることにより、あまり活動できない人でも気軽に参加しやすい空気をつくる。
- 2つめは、マンネリ防止。

- 3つは、世代を混ぜること。世代を混ぜた飲み会をすると、すぐに仲良くなれる。最初の誘い方としては、一緒にやろうではなく「ちょっと手伝ってくれない？」という方が参加しやすい。
- 4つめは、雰囲気づくり。パトロールはなくても、「あの人たちに会いたいな。」と思わせるような団体にする。

○ 安全と安心

- 安全というのは、犯罪者に対して犯罪をさせないぞという強いメッセージであり、安心というのは、守ってほしい人（子どもなど）たちに対する「大丈夫ですよ。何か困ってませんか。」というメッセージ。
- 防犯パトロールの腕章や自転車のカゴにつけるプレートを作成しているが、安全ではなく安心を意識してデザインしているため、防犯等の言葉は入れず、可愛いキャラクターとパトロールの文字で、困っている人（子どもなど）へのメッセージを発信している。来年から、デザインは無料で皆さんに提供する予定。
- 安心感を地域に広げる活動をするにより、地域の人から、「あなたたちがいてよかった。」「ほっとした。」などと感謝される。それが防犯活動をする上でのエネルギーになっていく。

○ 防犯活動の意味

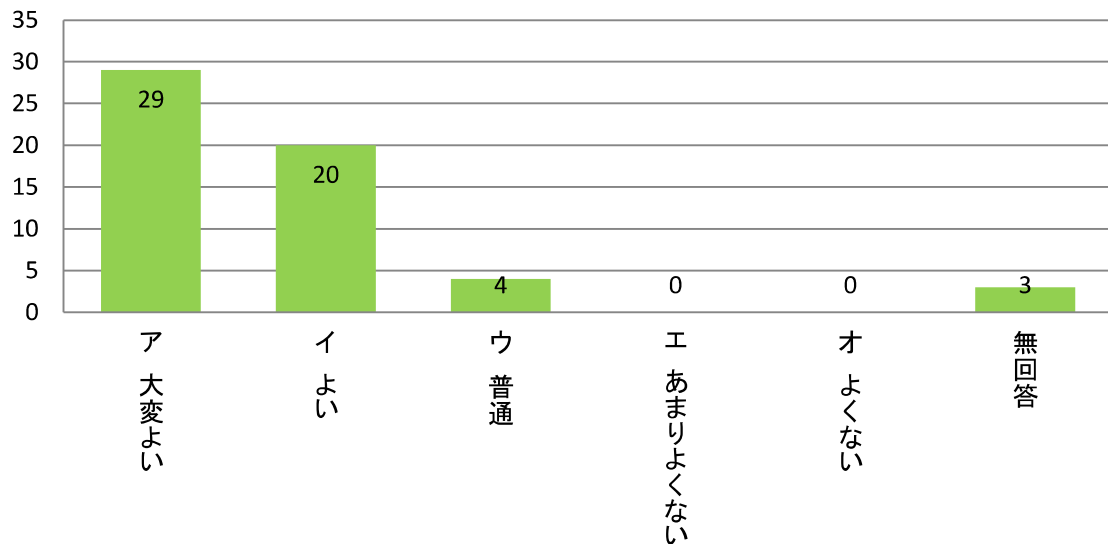
- 子どもの絵に「見ていてくれてありがとう。」と書いてある。これは皆さん声が、子どもの心に貯金されているということ。この子が大きくなれば、次の世代の子どもを守る人になってくれる可能性がある。
- 「知らない人には気をつけろ。」では地域はよくなる。防犯活動をする人は、どうどうと子供に声をかけてほしい。無視する子ども、皆さんの声は、子どもの心の中に貯金されている。

2 ワークショップ

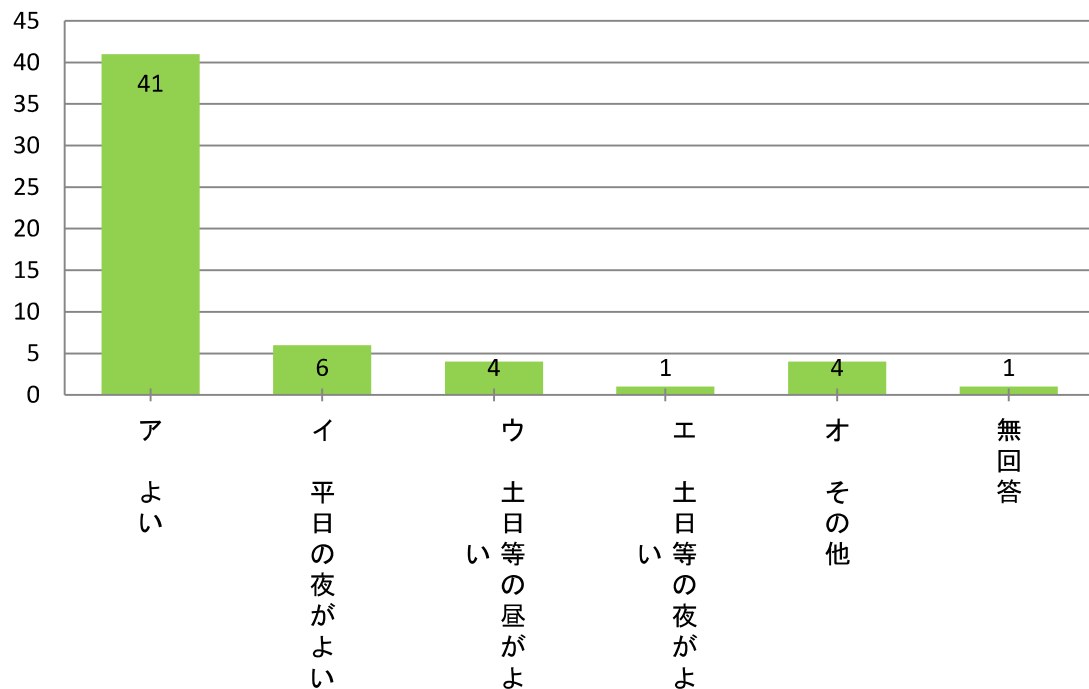
- 最初に、簡単な体操をとおして、自分の後の「死角」と「隙」をなくす練習をした。
また、パトロールをチームで行う際の死角をなくす効果的な分担方法も学んだ。
- 次に、2人1組で丸めた新聞紙を支え、落とさないように自由に歩き、ぶつからないように周囲を確認したり、協力して他のペアの新聞紙をくぐったりして、知らない人とコミュニケーションができて「触られない」最低限の安全距離を確認した。
- 更に、「対処力」を身に付けるために「スタンバイ・ザ・クルリンパ」を行った。これは不審者に肩を組まれてしまった場合、相手に暴力を振るうことなく脱出するための動作を合言葉にしたもので、肩に乗せられた手を軸にぐるりと回ると簡単に脱出できることを学んだ。
- 最後に、防犯ブザー鳴らして投げ捨てることにより、不審者側のスキをつくって逃げる方法を学んだ。また、防犯ブザーは種類によって音量が大きく異なることも実際の音で確認した。

平成27年度厚別区防犯講演会アンケート集計結果
実施日：平成27年10月28日(水)14:00～16:00
(対象数73人 回収数56人 回収率76.7%)

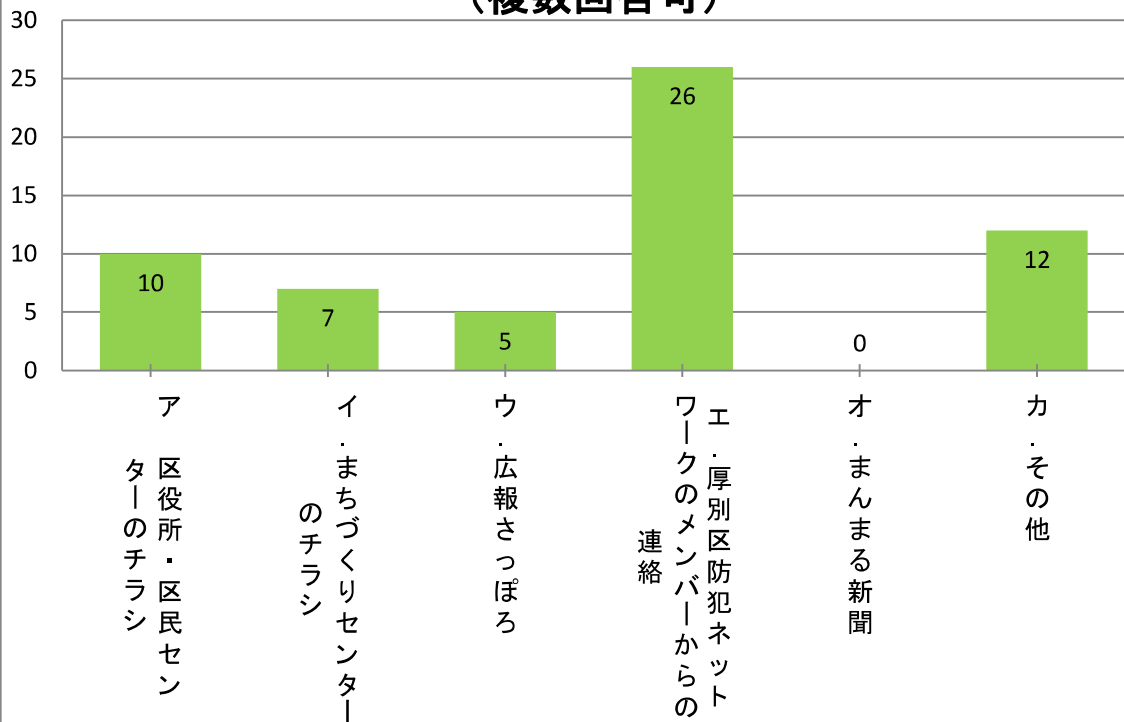
Q. 1 防犯研修会の内容は？



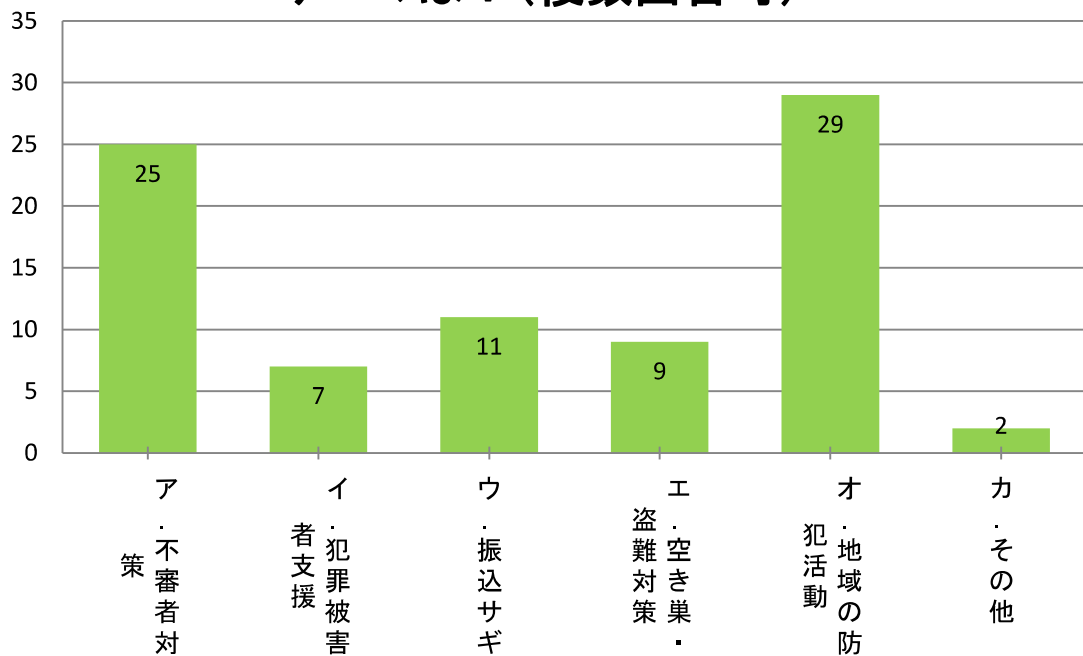
Q. 2 研修会の設定日時はどうでしたか？



Q3. 研修会はどのようにお知りになりましたか？ (複数回答可)



Q4. 今後、研修会で取り扱ってほしいテーマは？(複数回答可)



Q.5 現在取り組んでいる防犯活動・防犯対策など

防犯パトロール(8件)、スクールガード(6件)、青色パトロール(3件)、青少年育成委員(2件)

登下校時の見守り(2件)、防犯ブザーを持つこと、地域安全協力員、町内会青少年部

SOSの家、見回り活動の実施、メールのやり取りで安否確認、子どもにGPSを持たせ

Q.6 講演会の感想などの自由意見

逃げ方(スタンバイ・クルリン・パ)等の護身術が役に立ちそう。(9件)

体を使ったワークショップが楽しかった。(4件)

講師の話が楽しかった。(3件)

学校でもやってみたい。(2件)

学校では「知らない人には話しかけるな」という指導をしていると思うが、改めるべきだ。

もう少し子供たちとコミュニケーションをとろうと思った。

防犯ブザーをチェックしようと思った。

子どもを交えた体験型の研修にすると良い。

防犯講演会の回数を増やしてほしい。

幼児・小学生を持つ親等に聞いてほしい。

子どもたちにも聞いてほしい。

講演会の内容が参加者のレベルにあった。

ボランティア活動に大変参考になった。

防犯の見方が変わった。

体の動く限りは活動を続けたいと思った。

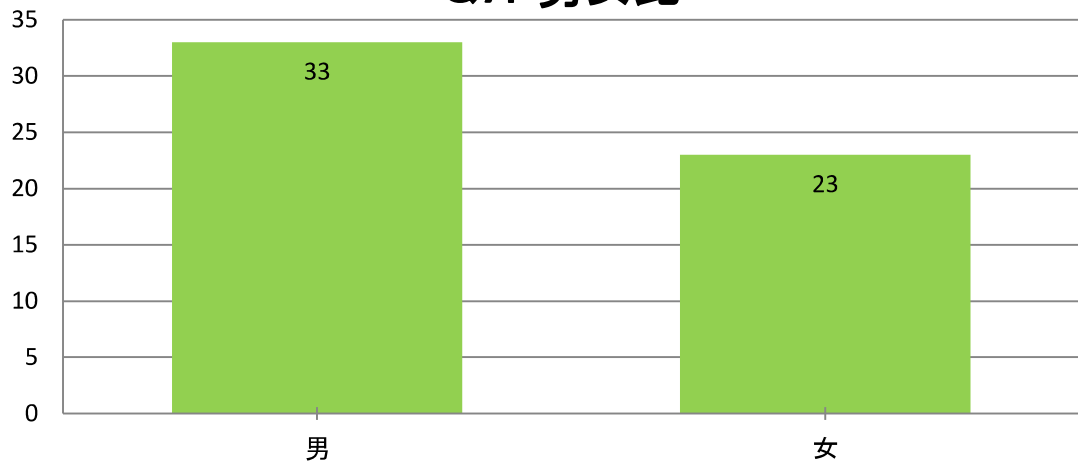
これまでやってきた防犯活動の自信につながった。

昨年も同じ武田氏の講演会があった。

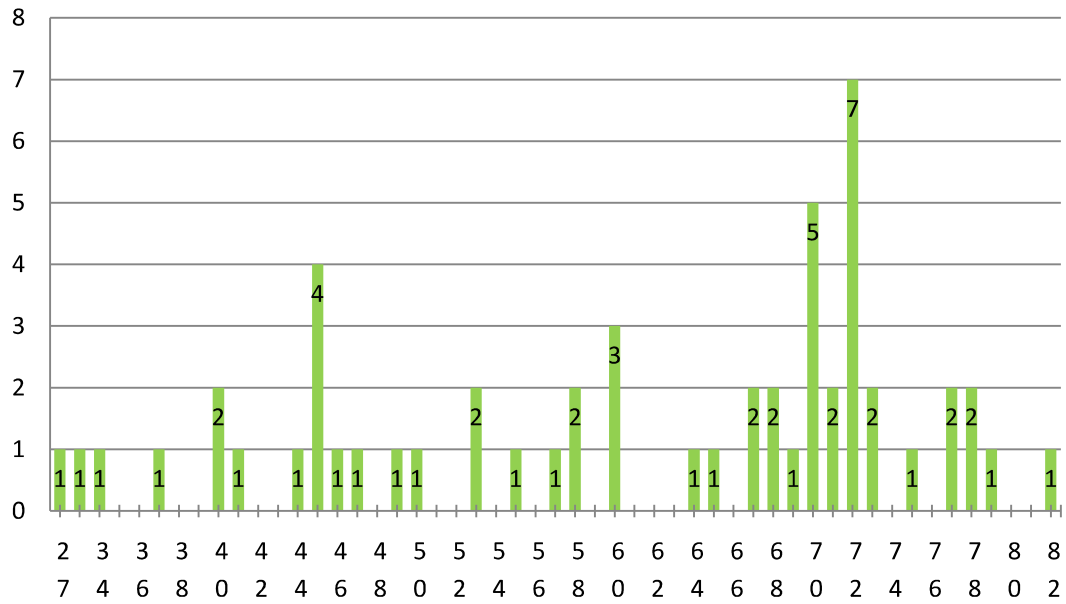
もう少しユーモアがあったら飽きないと思う。

防犯講演会というタイトルが抽象的なので、女性が即理解でき、出席したい意欲を持つタイトルにしてはどうか。

Q7. 男女比



Q7. 年齡



●平成27～28年度事業計画

資料4

時期				平成28年度											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防犯ネットワーク	防犯ネットワーク通信発行					第10回防犯ネットワーク会議			防犯研修会		第11回防犯ネットワーク会議		防犯ネットワーク通信発行		
厚別区役所						地域安全マップ (共栄小) 6～7月			防犯パネル展 (区役所1階) 10月上～中旬						